

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	幼稚園教育推進事業	担当課・係名	子育て支援課 保育園・幼稚園係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	26
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

**2. 事業の概要**

目的 (何のために)	人形劇公演委託契約や教職員の各種研修会等にかかる経費の負担。				
対象 (誰を・何を)	園児、教員				
内容	園児に対する教育活動の円滑な実施、教職員の資質の向上。				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	323	256	267
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	323	256	267
	職員人数 (概算職員数)	人			0.05
	人件費計 (b)	千円			306
総事業費 (a)+(b)	千円	323	256	573	
事業費内訳	報償費25千円、委託料135千円、負担金補助及び交付金107千円				
H 25 年度					

**3. 指標値の推移**

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 園児・教員数	人	455	378	394
	②				
活動指標 (活動量)	① 人形劇の実施回数	回	3	3	3
	②				
成果指標 (達成度等)	① 園児、教職員1人あたりの事業費	円	710	677	678
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 園児に対する教育活動としての人形劇鑑賞や教職員の資質向上のためには必要。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 人形劇鑑賞を委託で実施することにより、演目を毎年変更して在園中にいろいろな作品に触れることができるので、幼児教育に効果がある。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 教職員が意見交換をして作品の選定にあたっており、幼児教育に適した作品の鑑賞が実施できている。園児も作品を間近で鑑賞できるため、大きな反応が得られる。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他 安価で良質な作品の鑑賞ができています。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 削減した予算の中で実施を継続しており、今以上の削減は難しい。
	担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由	大きな会場で全園児対象に実施すればコスト削減につながるが、現在のように各園で実施して間近に鑑賞することの方が幼児教育の効果が大きい。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	引き続き効率の良い経費の執行に努める。
② 平成26年度に着手する事項	引き続き効率の良い経費の執行ができるよう業者の選定を行う。
③ その他（課題、調整事項等）	

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

引き続き効率の良い経費の執行に努める。
---------------------